

2月11日(金・祝)

(建国記念日)
午後1時より開場
午後1時半より

時節柄、お食事を用意しておりません。*お食事を済ませてからご来場お願い申し上げます。

大般若祈禱会

●厄払い ●所願成就 ●星まつり

【ご来場される皆様へ】

新型コロナウイルス感染症への対策を十分に行っております。

お客様におかれましても感染防止策へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

- ・ご自身の健康状態を確認してご来場ください。エントランスに消毒液を設置いたします。手指の消毒をお願い申し上げます。
- ・ご来場の際はマスクを着用してください。
- ・咳エチケットを遂行していただきますようお願い申し上げます。

新春福引大会は、新型コロナウイルス感染症のため、今年は開催を見送りたいいたします。来年は、皆様にお楽しみいただけるよう準備しております。

大乘院寺報 令和4年1月
〒064-0958
札幌市中央区宮の森1263-3
電話(011)641-8904
FAX(011)631-0004
E-mail
yakuou@triton.ocn.ne.jp
第86号

宮の森 大乘院

令和四年
新年号

道しるべ



嘉祥陽春

(住職挨拶)
住職 田中清元

永いコロナ禍によりやく収束の兆しが見えてきました。日常生活も戻りつつあり、まさに、転換期。

「明けまして」と、コロナ禍からの脱却を象徴する意味も込めまして、改めて新年明けましておめでとうございます。檀信徒の皆様には日頃、宮の森大乘院のお寺に思いを御寄せ頂き心から感謝申し上げます。

一年の計は元旦にあり。さて、この一年どう生きましようか？

暗から明へはその心の持ちようで、結果が百八十度違って来ます。もちろん、辛かった事は忘れませんが明るく希望を抱いて迎えるのが新年初頭であります。

歴史を振り返りますと、ウイルス、パンデミックは人類史上無数に繰り返され、そして人類は間違はなくそれらを克服し現在に至ります。同時に医学の進歩を中心に社会全体の大改革を果たし、言い換えるならば大きなハールドルがなかったなら、人類の進歩も繁栄もなかった事になりましよう。

「人生楽ありや苦もあるさ」

誰でもご存知の水戸黄門様の主題歌は、「菜根譚」と言う古典から引用した歌詞であると聞いております。

「苦勞の後には必ず安樂が訪れる」と言う意味です。ただし、苦勞を克服するには、時間がかかります。時には挫折に怯える事もある



合掌

人生ひとつのモノなのさ
後には戻れぬモノなのさ
明日の日の出をいつの日も
目指して行こう顔上げて
とてもポジティブな歌詞で、今日のわたし達に希望と勇氣、そして覚悟さえ感じさせてくれます。
いよいよ令和4年が始まります。
陰より陽
寡黙より歓談
泣き顔より笑顔を中心掛けて
背筋を伸ばし
童心のようにワクワクさせ
黄門様の歌のように、自分の道を踏み締めて、新しい年をしっかりと歩いて行きましよう。

ちなみに、水戸黄門様の主題歌には幻の3番があるのはご存じでしょうか？

お釈迦様の願いは「抜苦与樂」と申しまして人々の苦しみを抜き安樂を与える事が仏教の大切な目的だと仰っております。

令和4年(2022年)行事とお参り		
1月	1日(祝)	元朝祈禱会
2月	11日(祝)	大般若祈禱会
3月	11日(金)	大震災慰靈供養
3月	20日(日)	春彼岸中日法要
5月	第2・第3(日)	花まつり
7月	下旬	子ども坐禅会
8月	15日(月)	新盆万燈供養
8月	20日(土)	お盆大法要
9月	22日(木)	秋彼岸中日法要
10月	10日(祝)	兩祖報恩会
12月	8日(木)	釋尊成道会
12月	31日(土)	除夜法会

令和4年(2022年)年忌表		
1	周忌	令和 3年
3	回忌	令和 2年
7	回忌	平成 28年
13	回忌	平成 22年
17	回忌	平成 18年
23	回忌	平成 12年
27	回忌	平成 8年
33	回忌	平成 2年
37	回忌	昭和 61年
50	回忌	昭和 48年
100	回忌	大正 12年

長寿祝い早見表		
数え年		
還暦	60歳	1962年(昭和37年)
古希	70歳	1953年(昭和28年)
喜寿	77歳	1946年(昭和21年)
傘寿	80歳	1943年(昭和18年)
米寿	88歳	1935年(昭和10年)
卒寿	90歳	1933年(昭和8年)
白寿	99歳	1924年(大正13年)
百寿	100歳	1923年(大正12年)
茶寿	108歳	1915年(大正4年)
皇寿	111歳	1912年(大正元年/明治45年)
大寛寿	120歳	1902年(明治35年)

賢人の言葉
日々是新(ひびこれあらた)
松下幸之助さんの道をひらくより
年があらたまれば、心もあらたまる。心があったまればそれだけで、おめでたい。
日々の自然の動きには何らかわりはなく、照る陽、吹く風は同じでも心があったまれば、見るもの聞くものがみな新しい。
毎日が新しく、毎日が門出です。
素直に謙虚に、創意に富む人は、毎日が明るく、毎日が元気。
元気に、みなさんと新しい日々を迎えましよう。
院代 橋坂慎龍 合掌

お寺だからできる安心の御供養があります。
終活、墓じまい、仏事のことなど何でもお問合せください。将来的な後継者問題や、残された御家族への負担もありません。
宮の森 大乘院 薬王寺
TEL:011-641-8904 FAX:011-631-0004
Email:yakuou@triton.ocn.ne.jp

護持会費のお願い
お寺を支える大切な会費です。「年間一万円」を皆様にお願ひ致しております。月命日やお盆等でお詣りに伺った時や、寺報等に同封されている振込用紙を御利用いただき御納め下さい。ご不明な点はお寺までお気軽にお問い合わせ下さい。

お寺のできごと

9月23日 秋彼岸法要

彼岸会の起源はおよそ1200年前にさかのぼり、春と秋の年2回、7日間にわたって読経を行なったことが彼岸会の始まりとされています。そして、昼夜の長さが同じになる秋分の日、旧本堂と新本堂で行われました。

御参詣者は手をあわせ心落ち着かせ、御先祖様や大切な方へ感謝報恩の御焼香をされました。



「御詠歌とお寺への感謝」

中村美砂子様

この度御詠歌講と一線を引く事に成りました。夏の終わり頃から身体が重く6年前にペースメーカーを入れたり、僅か二十歩位歩くにも何度も立ち止まり休んだり体力の限界を感じます。思い返せば御詠歌を始めて26年間、方丈様や奥様に支えられての月日だったと思います。

御詠歌とのキッカケは、お寺からのお誘いですが初めはカラオケ感覚でした。この26年間いろんな事も有りました。当時の奥様は、まるで日本人形のように美しく方丈様は未だ若と呼ばれて居り、あまりお会いする事も有りませんでした。御詠歌のお稽古は当時お年寄りが多くいろんな人が居りましたが今日この日迄続けられる事が出来、私自身あの世へ「道しるべ」が出来た様な気がして居ります。

カラオケ感覚で始めた事は僅か数ヶ月で消え去り、新盆供養の時など御遺族の方々のすすり泣きの声を耳にすると声が詰った事も何度か有りました。お稽古の時、歌詞を良く認識しお釈迦様御先祖様のお心に添って唱え方は出来ないかを考えたり……しかし「こ迄の気持ちに成る迄に、これ程の年数が掛かった」と言う事ですね。

最初は、どんな切っ掛けでも構わないと思います。毎回練習に通う事で人間関係の事、仏教の教えを少しずつ学べる事が身に付いて来ると私は考えています。月に一度の先生の日も、遠い島牧より来て下さり私達に優しく御指導され、合い間には奥様が美味しいオヤツを運んで下さり楽しい雰囲気、笑いの中でお稽古です。生き甲斐や御自分の心を磨きたい方、少しもお釈迦様の教えを知りたい方は男女問わず

10月9日 開山忌

秋晴れの中、年内最後の大法要を行いました。コロナ禍の中、感染予防対策を行いながら、多くの皆様に御参拝いただきました。心より御礼申し上げます。

◎北海道開拓殉難者慰霊供養



二〇十八年に百五十年を迎えた北海道開拓の歴史の中で礎となり、尊い命を犠牲にされたアイヌ先住者、韓国朝鮮、中国出身の方々の慰霊供養。先代様の代より、境内地に「北海道無名開拓殉難者慰霊之碑」を建立し、いままなお韓国や中国の寺院と親善交流を深め、慰霊を続けています。コロナ禍の中でも変わらず慰霊碑にお供えをして、開拓殉難者の御位牌を本堂に祀り勤修致しました。

◎報恩会



導師の御住職が厳粛に勤められました。続いて、この有り難い御縁にちなみ、御志納頂いた皆様と、御塔婆を申し込まれた皆様の先祖供養を執り行い、皆様にご焼香頂きました。

「まごころをこめておもてなしをする」ことにより、ほとけさま、御先祖様への報恩の気持ちをお伝えするもので、「ほうおんえ」と読みます。正式には「両祖忌」と呼ばれる法要で、大本山永平寺を開かれた道元禅師様と、大本山總持寺を開かれた瑩山禅師様の御遺徳を偲び行われる報恩感謝の法要です。

◎チャリティー寄席

昨今の新型コロナウイルス感染症により活躍の場が少なくなってきた事を憂慮し、少しでもチャカラになりたいとの御住職の思いで、本年はチャリティー寄席を開催致しました。拓殖大学で御住職の後輩になります「古今亭志ん弥師匠」と北海道根室市出身の「三遊亭金八師匠」にお越し頂きました。わずかな時間ではありましたが、笑いに包まれた楽しい時間を過ごせました。



12月8日

成道会

お釈迦様お悟りの日



御釈迦様が菩提樹の下で悟りを開かれた事をお祝いする法要です。御住職導師にて執り行われました。

月寒忠霊塔

戦没者慰霊供養



太平洋戦争開戦記念のこの日、午前10時より諏訪神社の前田伏樹宮司と札幌神職青年会皆様との神仏合同で、塔内に眠る四千柱の戦没者の御霊のために慰霊供養を行いました。

子ども空手教室
心と体を鍛えましょう
毎週月・木・土曜日
午後5時より お寺
3年連続全道大会優勝。共に心と体を鍛え「自分力」を磨きましょう!初心者大歓迎です。いつでも見学に来てください。

ご詠歌
仲良く楽しく唱えましょう
毎週金曜日
午後1時より 会費あり
ご詠歌を聞かれた事はありますか?亡き人への追憶の思いに涙があふれます。歌の得手不得手は関係ありません。一緒にお唱えしましょう。

ヨガ
心と体と向き合しましょう
呼吸とポーズを組み合わせるヨガは、心身をリラックスさせ、不調を整える効果があるとされています。

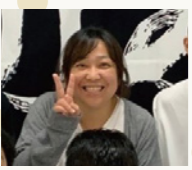
ケイタさん登場
様々なコンテストで受賞経験のあるプロパフォーマーのケイタさんも登場し、ステージで驚き、笑い、感動のパフォーマンスを披露していただきました。

今年もさまざまな活動を行い、多くの皆様にご協力いただきました。

坐禅会
体と心を調えましょう!
毎月1日・15日
午前7時より 参加無料
忙しい毎日の中、静かな時間を過ごしませんか?坐禅は身と息を調え、心を調えます。初めてでも大丈夫!座りやすい服装でおいでください。

スキー
心と頭と感性を磨きましょう
お寺では、住職の長女・亜実さんが指導するアルペンスキー少年団の指導も行っており、心と身体と感性と一緒に磨いてトレーニングに励んでいます。

わんマルシェ
犬猫の保護団体Dear Life様主催の、愛犬撮影会やワンコのお洋服・小物・おやつ販売などを行っていただきました。キッチンカーも出店し、お腹も満たされました。



「御詠歌で真心を届けてみませんか?」

こんにちは田中衣麻です。お寺に嫁ぎ、早18年がたちました。ついに、来年度から御詠歌をさせていただくことになりました。所作など全くわからず、本当にゼロからのスタートです。これを機会に皆さんも初めてみませんか?明るく楽しい時間を御詠歌を通して皆様と過ごしたいと思っております!まずは、体験、見学からでもお待ちしております。



今は仲間もだんだん少なくなり、心細い限りです。どうぞ一緒に声を出していただだけませんか?御詠歌に縁をつないでくださいますようお願い致します。
合掌
御詠歌講一同